

令和元年度版



TSURUMI
発見つるみ!
～データで見る鶴見区～



Tsurumi Ward
Since 1927



鶴見区のマスコット
ワックン

はじめに

区民の皆様には、日頃より、区政の推進に御理解、御協力をいただきましてありがとうございます。

鶴見区は、戦後、日本の高度経済成長を支えてきた臨海部の産業の発展とともに、就業人口が増加し、それとともにまちも発展してきました。近年では、日本の重工業を支えていた工業の事業所数は、ピーク時の3割に減少し、工場の住宅への転用が進んでいます。

また、区の人口は、現在 29 万人を超え(市内 18 区中第 3 位)、世帯数約 14 万世帯(市内 18 区中第 2 位)となっています。横浜市が発表した将来推計人口によりますと、鶴見区の人口は 2042 年まで伸び続け、18 区の中で最後まで人口の増加が続くと見込まれています。

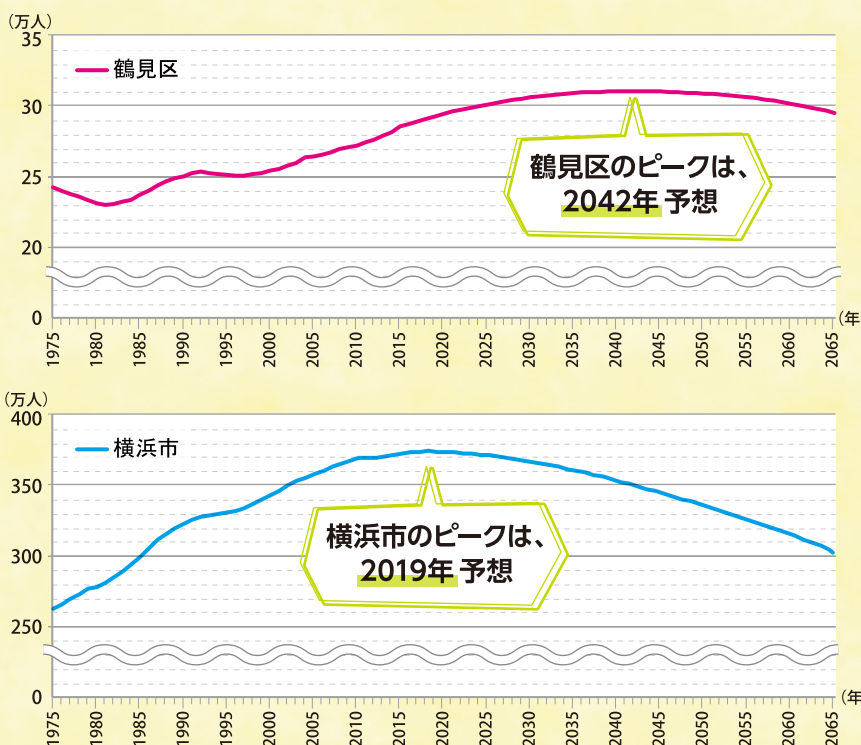
この「発見つるみ!データで見る鶴見区」は、人口や産業をはじめ、生活に関連する様々なデータを、鶴見区の特徴をとらえながら分かりやすくまとめています。これまでの鶴見、そして、これからの鶴見を考えていただく際の資料として、御活用いただければ幸いです。

発刊にあたり、貴重な資料を御提供いただきました関係諸機関をはじめ、御協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

平成から令和へと元号も変わりましたが、今後とも「いつまでも住み続けたいまち・鶴見」を目指し、まちづくりを進めてまいります。

令和2年1月 鶴見区長 森 健二

COLUMN



鶴見区の人口は 2042年がピーク!?

鶴見区の総人口は、平成12年(2000年)頃から増加し、平成30年(2018年)には29万人を突破しました。横浜市の人口は、平成31年(2019年)頃まで増加し、その後減少すると予測される中、鶴見区は令和24年(2042年)に人口のピークを迎えると予測されています。

※2019年以降は、2015年の国勢調査に基づいた推計値

人口の統計情報はP4以降に掲載しているよ!



資料:行政区の人口の推移、横浜市将来推計人口(政策局)

目次

1 鶴見区のプロフィール	
1 区の歩みと現状・誕生・地勢	2
2 鶴見区的主要指標	3
2 人口	
1 人口の動向	4
2 年齢別の人口	5
3 外国人住民	7
4 就業状況・労働力人口・労働力率	8
5 流出人口・流入人口・昼夜間人口	8
3 産業	
1 事業所	9
2 商業	10
3 工業	11
4 暮らしと環境	
1 住宅・2 消防	12
3 交通・4 犯罪	13
5 環境	14
6 区民フェスティバル	15
7 市税・8 戸籍	16
9 生活保護・10 子育て	17
11 健康・12 選挙	18
コラム	19
略年表	20
つるみマップ	

～ご利用にあたって～

構成比、総数の合計については、端数を四捨五入しているため、
内訳計と一致しない場合があります。





1 区の歩みと現状・誕生・地勢



鶴見区シンボルマーク
平成3年2月14日制定

区制施行：昭和2年10月1日
〒230-0051
横浜市鶴見区鶴見中央三丁目
20番1号
TEL 045-510-1818 (代表)
FAX 045-510-1889

面積：32.38k m² (令和元年10月1日現在)
人口：292,709人 (同上)
世帯数：140,093世帯 (同上)
区民の花：サルビア (平成3年11月制定)
区の木：サルスベリ (平成9年10月制定)
マスコット：ワックン (昭和63年1月制定)

● 区の歩みと現状

鶴見区は市の北東部に位置し、昭和2年10月1日、横浜市の区制施行により誕生しました。「鶴見」の名は鎌倉時代の史料からも現れており、源頼朝がこの地で鶴を放ったという伝説からその名がついたという説もありますが、「ツル」は「鶴」とは関係なく水路や河川の周辺の地を、「ミ」は「まわり、めぐり」を意味する語で、「ツルミ」は蛇行している鶴見川の地形を表しているという説もあります。

鶴見は、江戸時代の頃から鶴見川の水運や東海道を往来する人によって、川筋や街道筋が賑わっていました。漁業が盛んだった沿岸部では、明治の頃から埋め立てが進み、京浜工業地帯の中核として日本の重化学工業を支えてきました。戦後は、高度経済成長とともに、商工業の集積と人口増加が進みました。

現在の鶴見区は、29万人を超える人口を擁し、住宅地が連なる丘陵部「丘のまち」、鶴見川に沿った「川のまち」、臨海部の「海のまち」で構成されています。

「丘のまち」には、県立三ツ池公園や獅子ヶ谷市民の森などの豊かな自然があり、四季折々の美しい景色を楽しむことができます。また、横浜市指定文化財の横溝屋敷や、横浜市認定歴史的建造物の旧澤野家長屋門(通称「馬場の赤門」)などが保全・活用され、歴史を活かしたまちづくりが行われています。

鶴見川を中心とした「川のまち」では、工場から住宅などへの利用転換が進み、工業、商業、住宅が混在するまちとなっています。外国人が多く住む国際色豊かな地域でもあり、鶴見川は、多くの区民が散歩などで親しむ鶴見区のシンボルとなっています。

臨海部の「海のまち」では、生命科学の世界的な研究施設「理化学研究所横浜キャンパス」や産学連携を推進する「横浜市産学共同研究センター」などが末広地区に整備され、国際的な一大研究拠点＝横浜サイエンスフロンティアとしての再編整備が進んでいます。



● 誕生

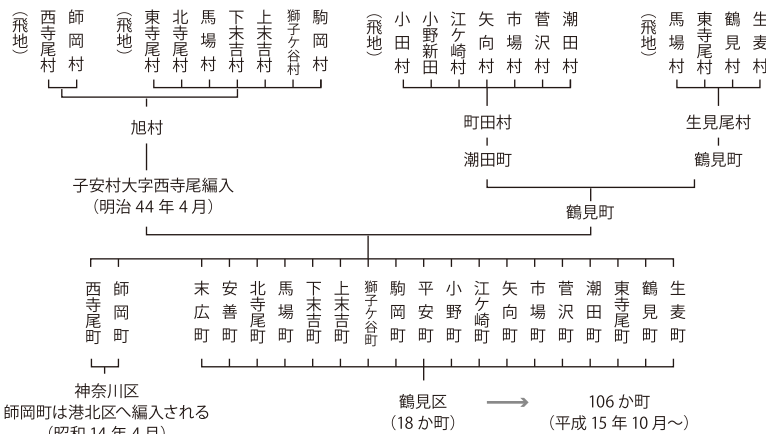
資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市市民局

神奈川県橘樹郡
(明治22年) 町村分合改称令により各村合併

(大正14年4月) 町制施行 1か町1か村になる

神奈川県横浜市
(昭和2年4月) 横浜市に編入

(昭和2年10月) 区制施行
神奈川区 鶴見町は港北区へ編入される (昭和14年4月)



● 地勢

- 極東：扇島
- 極西：上の宮二丁目
- 極南：大黒ふ頭
- 極北：矢向六丁目
- 最高地：馬場四丁目 (海面からの高度47.2m)

資料：「鶴見区史」鶴見区史刊行委員会・「横浜の町名」横浜市市民局

2 鶴見区の主な指標

区分	鶴見区	横浜市	18区中順位	基準日
人口	292,709人	3,748,781人	3位	R1.10.1
世帯数	140,093世帯	1,710,900世帯	2位	R1.10.1
1世帯あたり人員	2.09人	2.19人	13位	R1.10.1
面積	32.38km ²	435.43km ²	4位	R1.10.1
人口密度	9,040人/km ²	8,609人/km ²	7位	R1.10.1
平均年齢	43.91歳	45.79歳	16位	H31.1.1
出生数	2,473人	27,891人	2位	H30年中
死亡数	2,545人	33,487人	2位	H30年中
自然増加数	-72人	-5,596人	4位	H30年中
社会増加数	2,297人	13,456人	3位	H30年中
老年人口比率 (65歳以上)	21.2%	24.6%	15位	H31.1.1
年少人口比率 (15歳未満)	12.9%	12.2%	5位	H31.1.1
外国人人口	13,123人	98,760人	2位	H31.3.31
事業所数 <small>(H28 経済センサス活動調査) (事業内容等不詳も含む)</small>	9,393	124,866	4位	H28.6.1
事業所従業者数 <small>(H28 経済センサス活動調査)</small>	107,135人	1,475,974人	5位	H28.6.1
商業事業所数 <small>(H28 経済センサス活動調査)</small>	1,429	20,225	6位	H28.6.1
商業従業者数 <small>(H28 経済センサス活動調査)</small>	13,054人	227,556人	8位	H28.6.1
工業事業所数 <small>(H30 工業統計調査)</small>	333	2,331	3位	H30.6.1
工業従業者数 <small>(H30 工業統計調査)</small>	15,645人	90,938人	2位	H30.6.1

※世帯数と人口は、平成27年国勢調査結果（確定値）を基礎とし、住民基本台帳法及び戸籍法の定める届出等の増減を加減して推計しています。

※人口比率は年齢不詳を除いた総人口で算出しています。

※事業所数及び事業所従業者数は民営事業所の数字です。

※工業事業者数及び工業従業者数は従業者4人以上の事業所を対象としています。

※順位は数値の大きいものから並べた際の順位です。



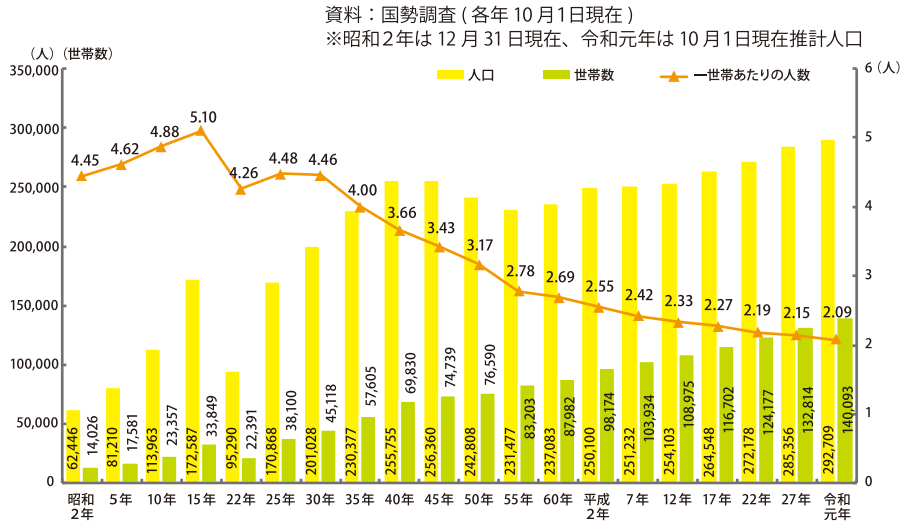


1 人口の動向

● 人口及び世帯数の推移

戦後、増え続けていた人口は昭和43年7月の260,777人をピークに一時減少し、昭和56年4月に229,945人と落ち込みましたが、その後は増加傾向が続き、人口・世帯数共に過去最高を更新しています。

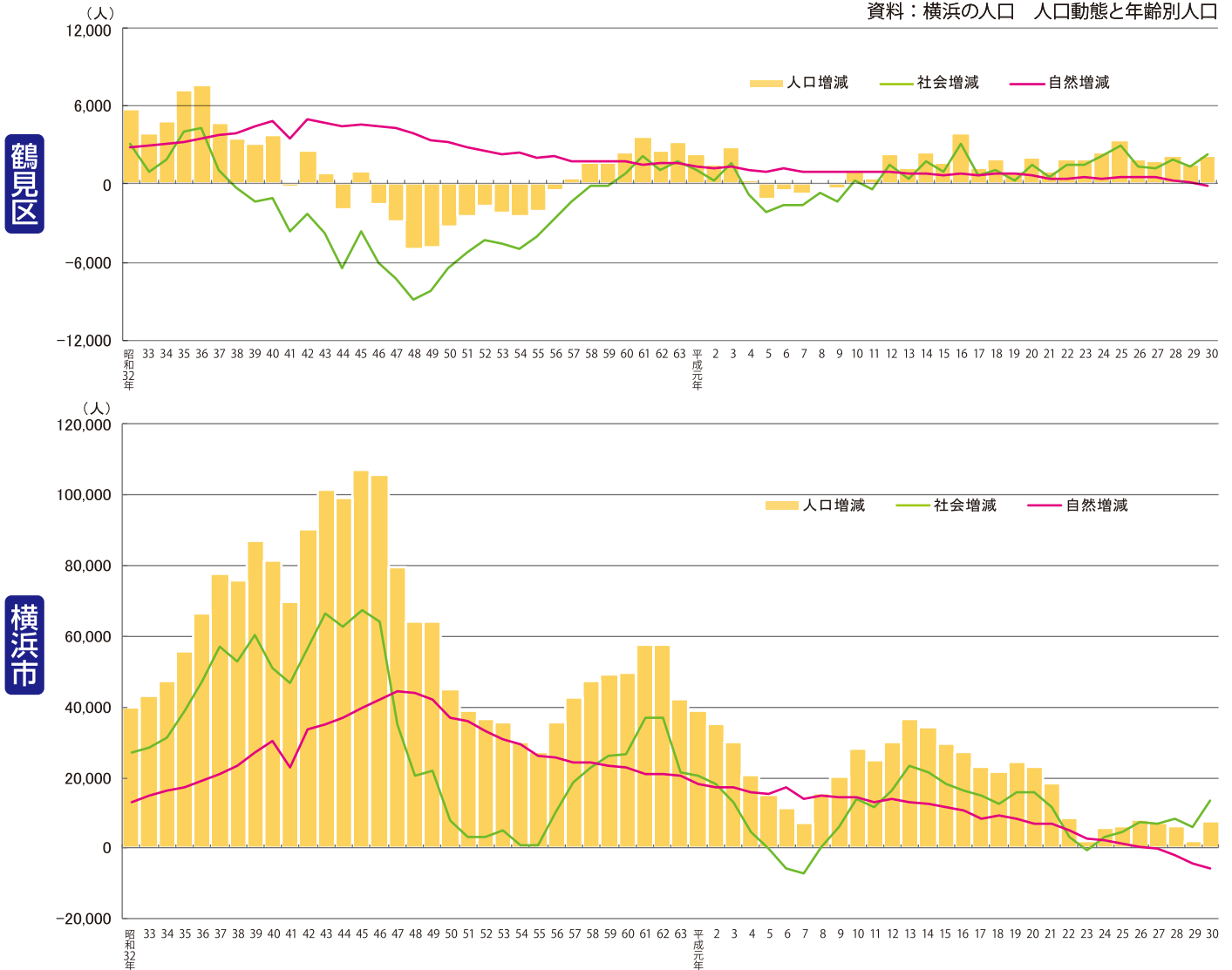
令和元年10月1日現在、鶴見区の人口は292,709人、世帯数は140,093世帯となっています。



● 人口増減・社会増減・自然増減の推移

鶴見区の人口は、増減を繰り返しながら推移しています。昭和40年代後半に、転出者数が転入者数を上回ったこと（社会減）により、人口が大きく減少した時期がありました。その後、昭和50年代後半から人口が増加したものの、バブル期を経て平成4年より再び社会減の傾向が続きましたが、平成12年からは社会増に転じています。また、自然増減については、平成30年に減少へ転じています。

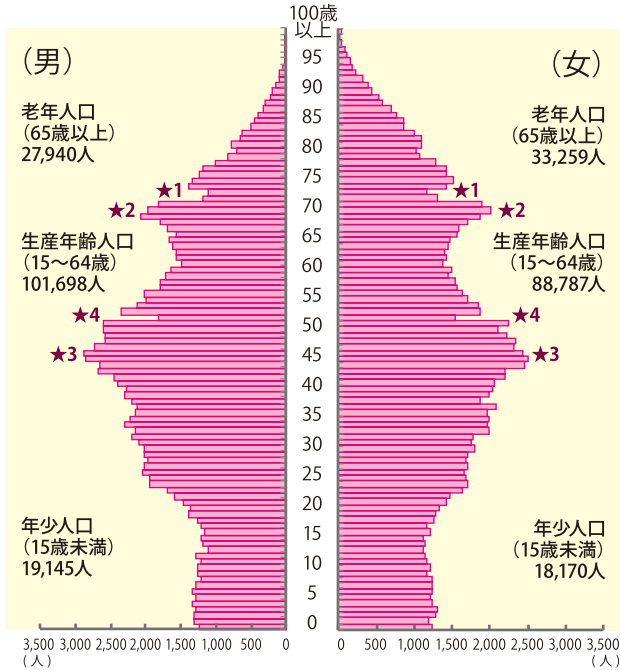
資料：横浜の人口 人口動態と年齢別人口



2 年齢別の人口

● 人口ピラミッド

鶴見区人口ピラミッド (H31.1.1現在)

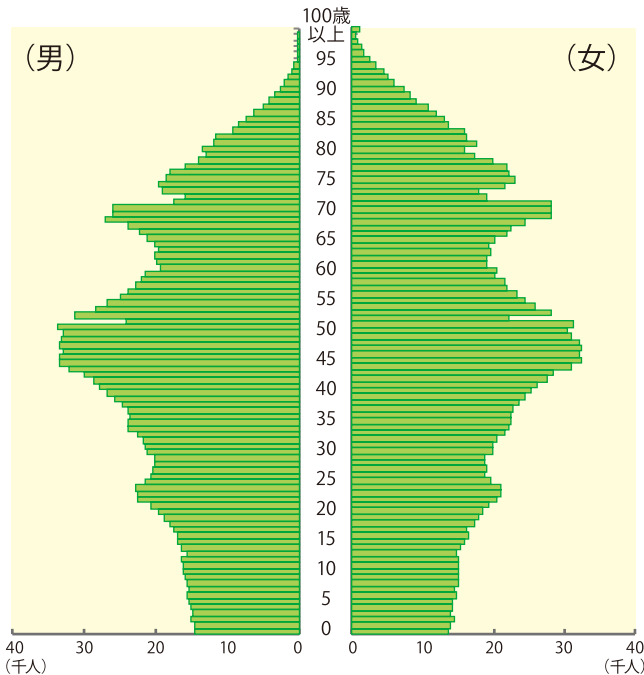


人口ピラミッドの特徴としては、第2次世界大戦終戦前後(★1)に出生減があり、その後第1次ベビーブーム(★2)、第2次ベビーブーム(★3)によって大きく膨らんでいます。また、その間にある大きな凹み(★4)は、1966年(昭和41年)の丙午による出生減となっています。

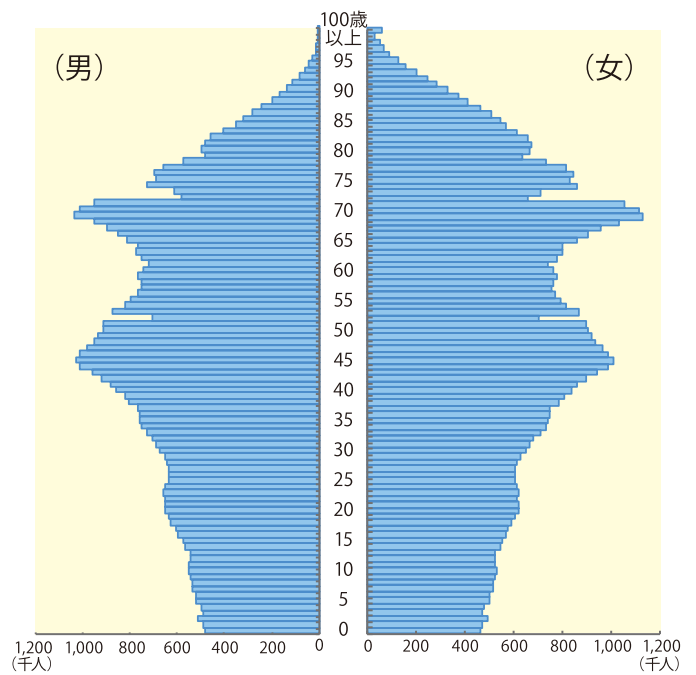
鶴見区の人口ピラミッドの特徴としては、40歳代の第2次ベビーブーム時期の人口が、70歳代前半の第1次ベビーブーム時期の人口より大きな山を描いています。また、15歳未満の年少人口が、横浜市や全国は減少傾向が続いていることに比べ、微増から横ばい傾向となっています。

資料：横浜の人口 年齢(各歳・5歳階級)別男女別人口
総務省統計局 年齢(各歳)、男女別人口及び人口性比
総人口、日本人人口

横浜市人口ピラミッド (H31.1.1現在)



全国人口ピラミッド (H30.10.1現在)



● 人口増減・社会増減・自然増減の数 (平成30年中)

資料：横浜の人口 人口動態と年齢別人口

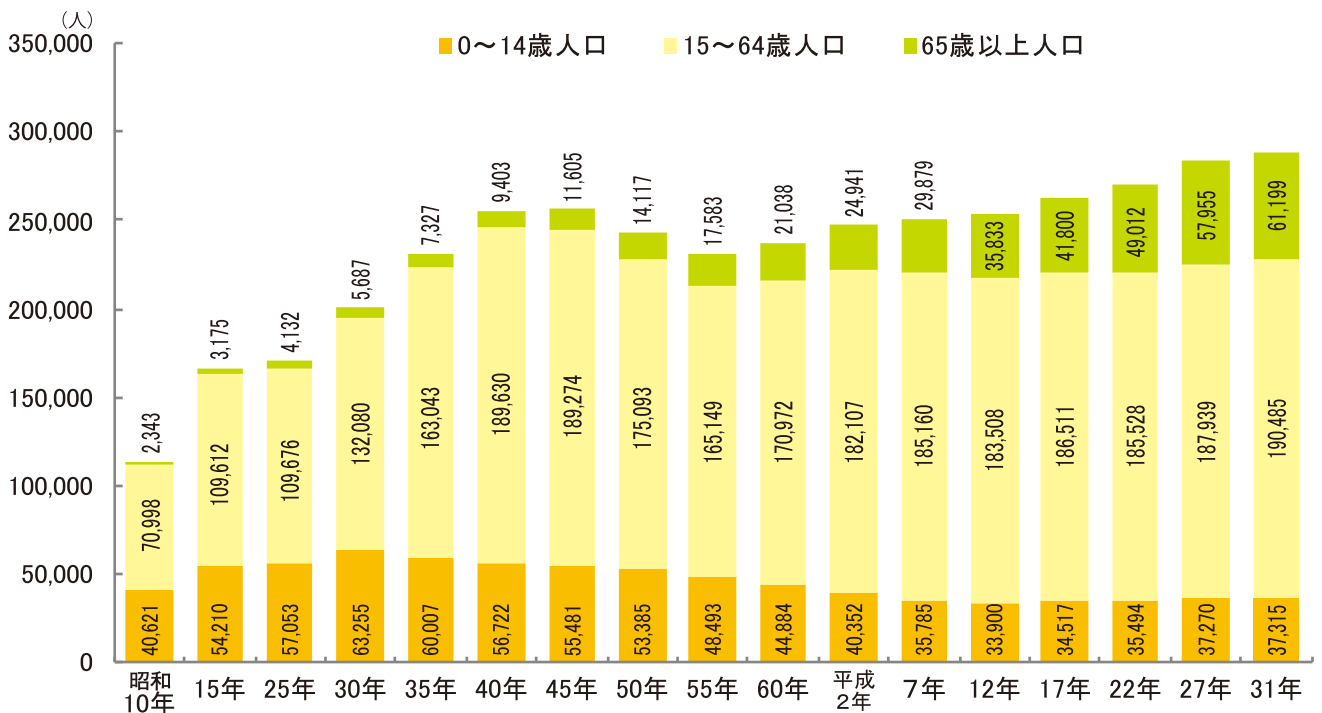
	人口増減	社会増減	自然増減
鶴見区	2,225人	2,297人	-72人
横浜市	7,860人	13,456人	-5,596人

● 行政区別平均年齢 (H31.1.1現在)

資料：横浜の人口 男女、行政区、年齢3区分別人口、年齢構成指数及び平均年齢

平均年齢が低い区	順位	平均年齢が高い区
都筑区(42.22歳)	1位	栄区(48.53歳)
港北区(43.41歳)	2位	旭区(48.21歳)
鶴見区(43.91歳)	3位	港南区(47.84歳)
西区(44.18歳)	4位	金沢区(47.78歳)

● 年齢3区分別人口の推移



資料：国勢調査（各年10月1日現在） ※平成31年は1月1日現在推計人口

年齢3区分別人口をみると、老年人口の増加が進んでおり、平成12年に15歳未満の年少人口と、65歳以上の老年人口の数が逆転したあと、近年その差が広がる傾向にあります。また、15歳未満の年少人口は、昭和30年以降減少していましたが、平成12年以降は、微増しています。



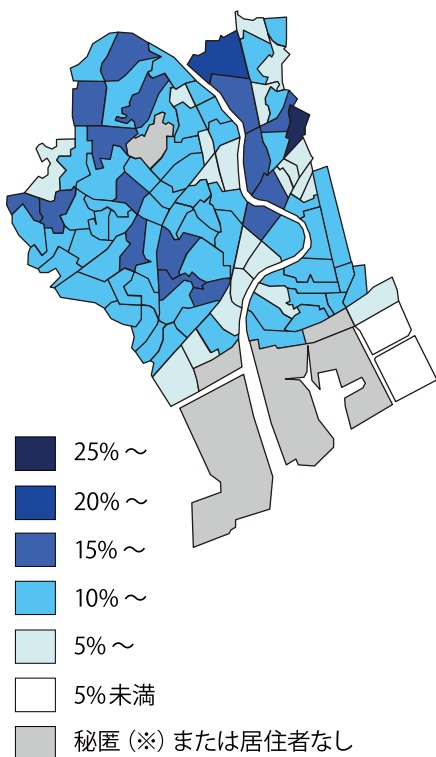
65歳以上の老年人口の割合が年々増えているね。



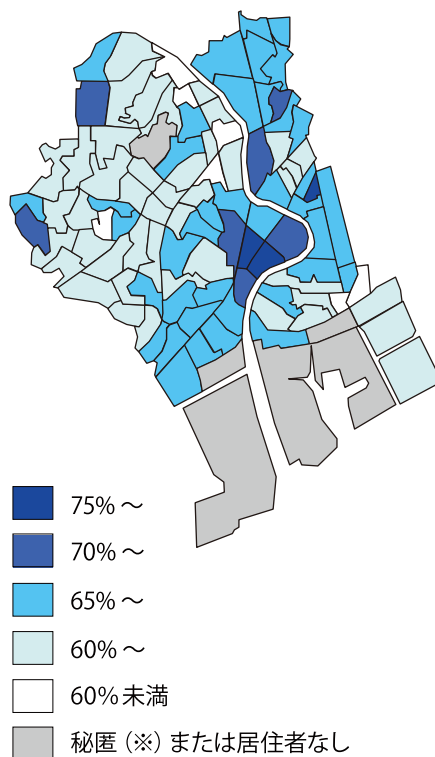
地図で見る鶴見 ～年少・生産年齢・老年の各人口比率～

資料：住民基本台帳（平成31年3月31日現在）※大黒ふ頭、扇島は省略しています

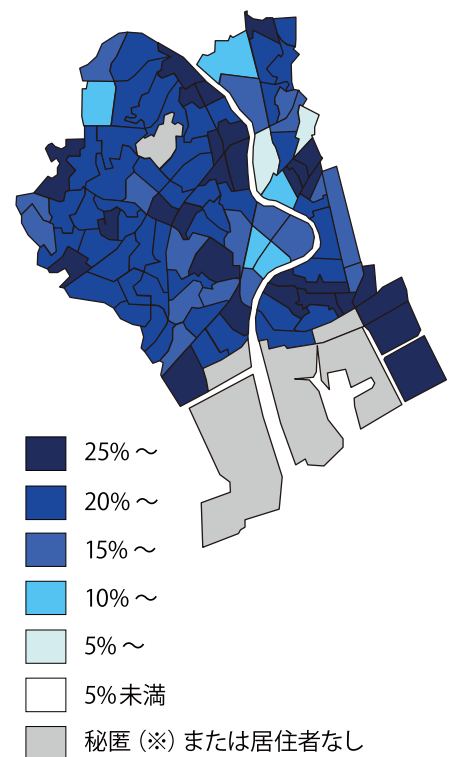
年少人口（15歳未満）人口比率



生産年齢人口（15～64歳）人口比率



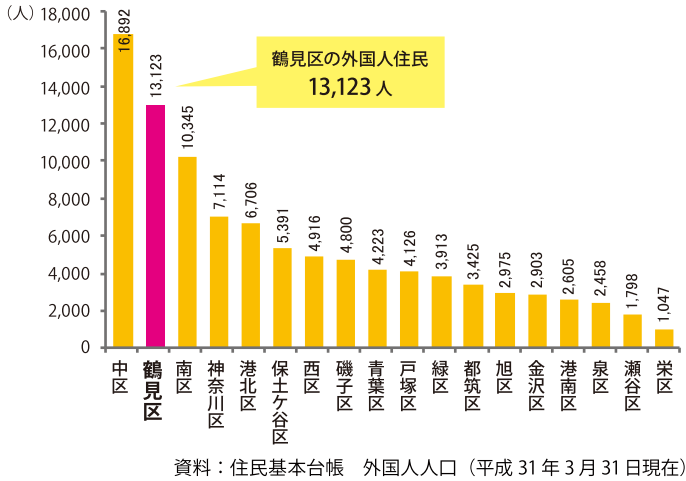
老年人口（65歳以上）人口比率



（※）データを示すことで個人が特定される恐れのあるものは「秘匿」としています。

3 外国人住民

● 区別外国人住民

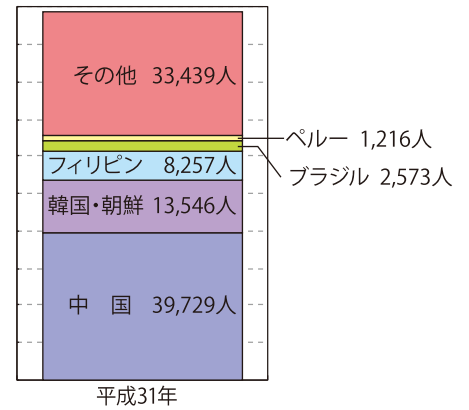
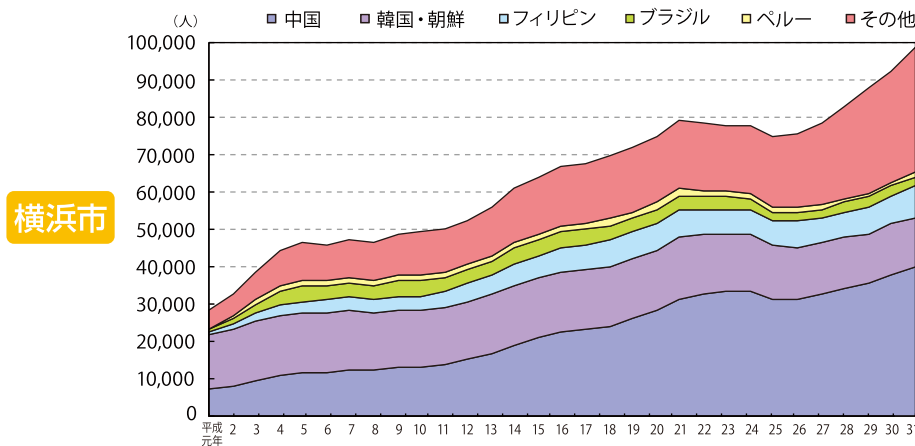
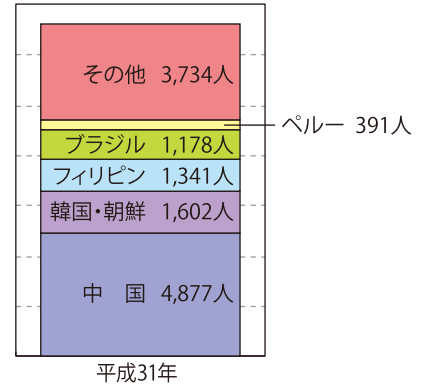
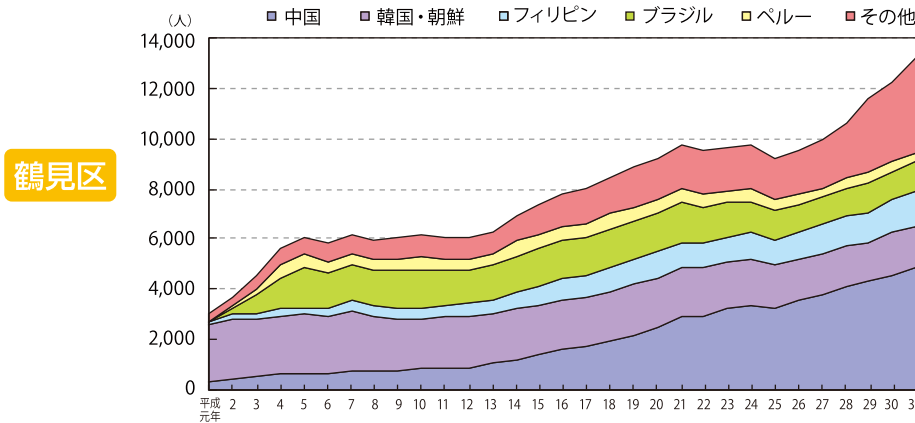


平成31年3月31日現在の鶴見区の外国人住民数は13,123人です。(前年より920人増加)これは中区に続いて市内2番目の多さとなっています。国籍別に見ると、中国、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルの順に多くなっています。横浜市全体と比べると、鶴見区はブラジル国籍の構成比が大きいことが分かります。

鶴見区は、外国人児童数(※)が445人で、18区で一番多いよ！
 ※ 市立小学校に通う外国人児童の数
 資料：横浜市教育委員会「市立学校現況」(令和元年5月1日現在)



● 国籍別外国人住民数の推移



資料：住民基本台帳 外国人人口 (各年3月末現在)

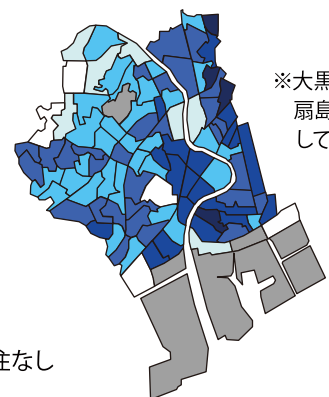
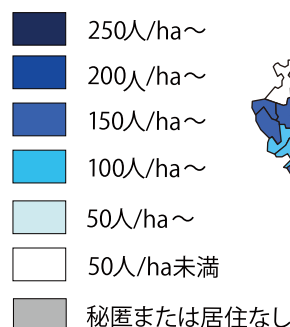


地図で見る鶴見 ～人口密度～

鶴見区内で人口密度の高い町は、尻手一丁目、矢向五丁目、尻手三丁目、本町通などです。

また、鶴見駅周辺と、川崎市との市境の人口密度が高い傾向にあります。

資料：住民基本台帳 (平成31年3月31日現在)

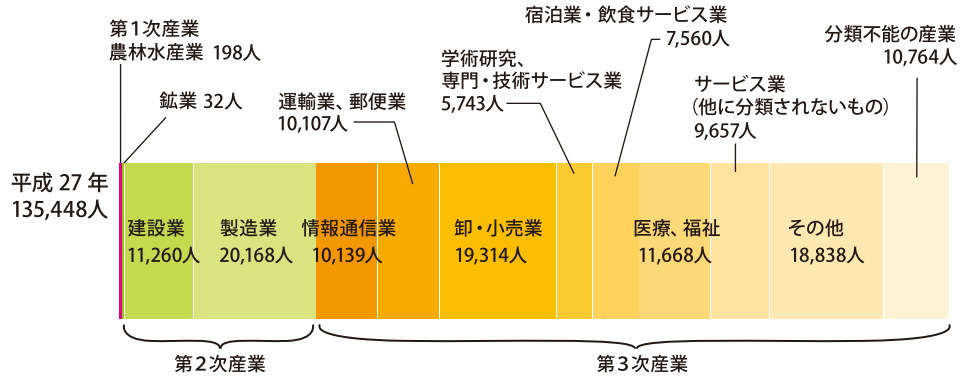


※大黒ふ頭・扇島は省略しています。

4 就業状況・労働力人口・労働力率

● 就業状況

鶴見区の実業者は、第3次産業、第2次産業、第1次産業の順に多く、産業大分類別にみると、製造業の実業者数が20,168人と最も多くなっています。



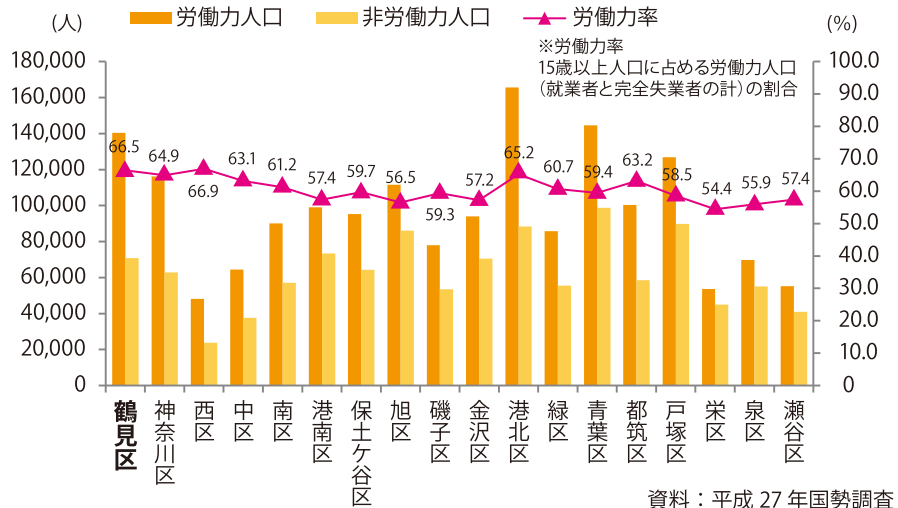
● 労働力人口・労働力率

鶴見区の実業人口は、140,346人で、行政区別にみると、港北区、青葉区に次いで、3番目の多さです。

鶴見区の実業率は66.5%で、18区中2位となっています。



18区の中で実業率が一番高いのは、西区(66.9%)。鶴見区との差は、0.4ポイントだよ!

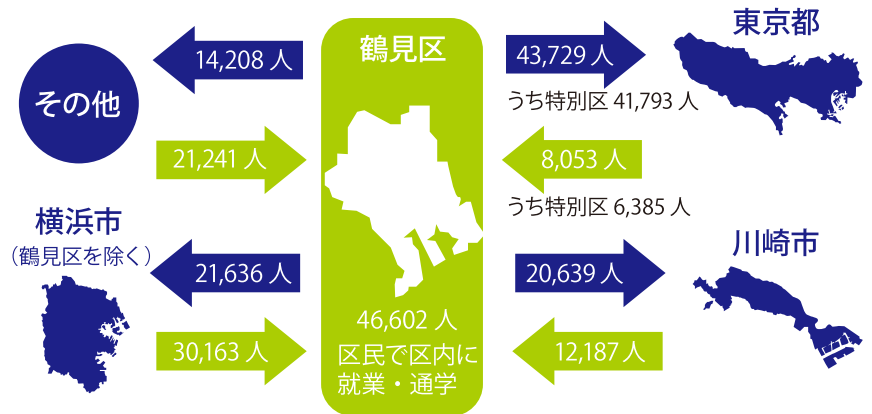


資料：平成27年国勢調査

5 流出人口・流入人口・昼夜間人口

● 流出人口・流入人口

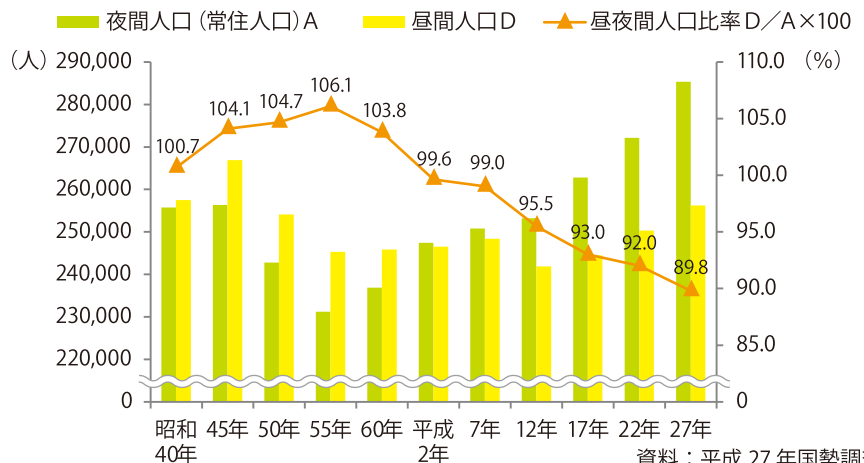
鶴見区に常住(居住)する15歳以上の実業者及び通学者数は146,814人で、そのうち、区内で就業・通学する者は46,602人(31.7%)と最も多く、横浜市内他区へ就業・通学する者は21,636人(14.7%)となっています。また、横浜市内では、鶴見区からは東京都への流出が43,729人(29.8%)となっています。



● 昼夜間人口

平成27年の鶴見区の昼間人口は256,228人、夜間人口は285,356人であり、平成2年以降、夜間人口が昼間人口を上回っています。

また、昼夜間人口比率は89.8%で昭和55年の106.1%をピークに減少を続けています。



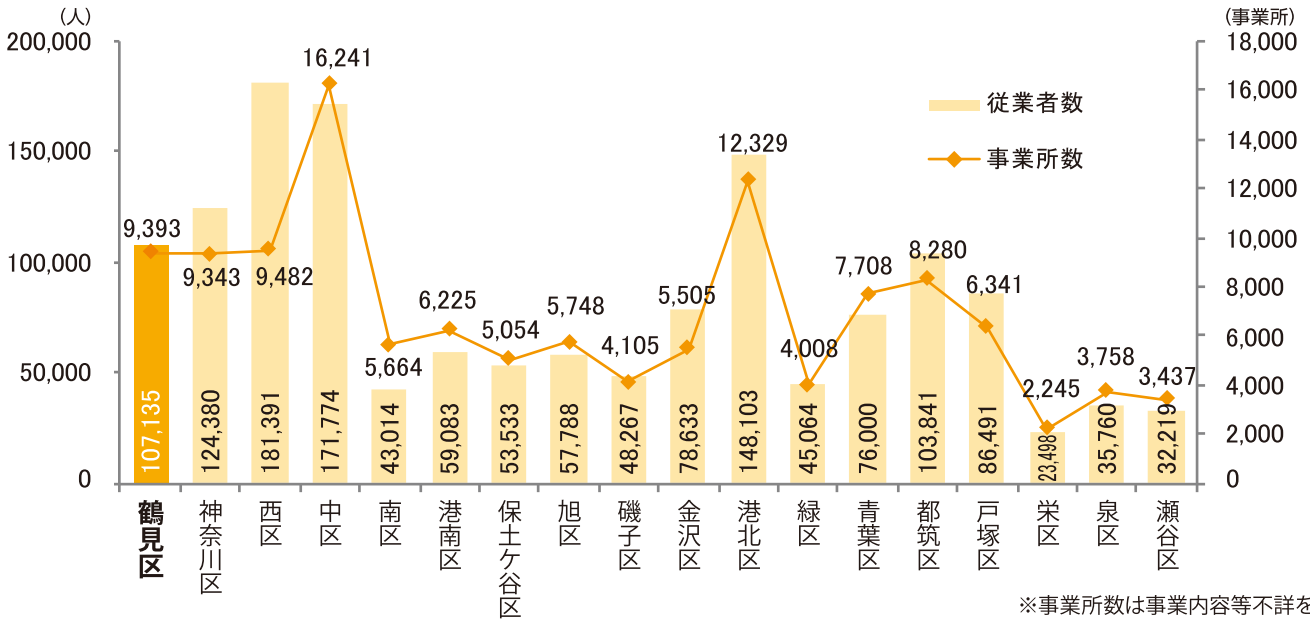
資料：平成27年国勢調査



1 事業所

● 区別事業所数・従業者数

平成 28 年の鶴見区の仕事所数は、9,393 仕事所となっており、18 区の中では、中区（16,241 仕事所）、港北区（12,329 仕事所）、西区（9,482 仕事所）に続き、4 番目の多さとなっています。従業者数は、107,135 人で、西区、中区、港北区、神奈川区に続いて5 番目に多くなっています。



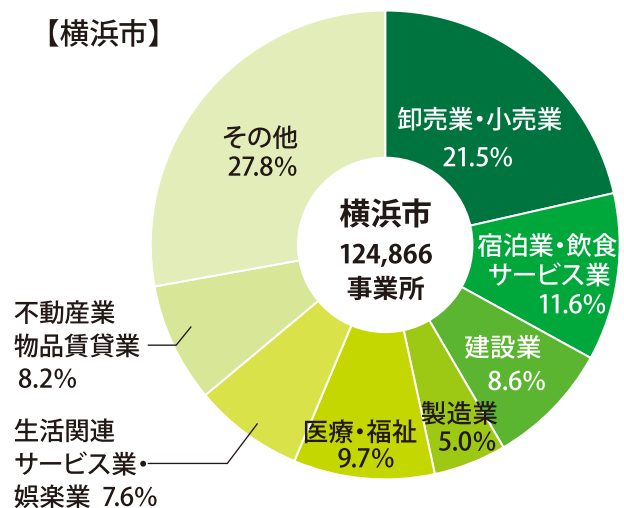
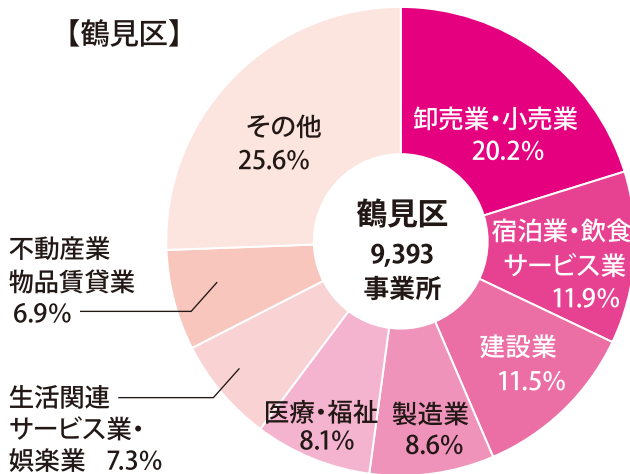
※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：平成 28 年経済センサス-活動調査-

● 事業所数の産業大分類別構成比（鶴見区・横浜市）

鶴見区の仕事所数の構成比は、大きい順に、卸売業・小売業、宿泊業・飲食サービス業、建設業、製造業となっています。

横浜市は、製造業が 6,271 仕事所で、構成比では 5.0%であるのに対し、鶴見区の製造業は 807 仕事所で 8.6%を占めています。横浜市の製造業の仕事所の約8分の1が鶴見区にあり、鶴見区は製造業の割合が高いことがわかります。

※事業所数は事業内容等不詳を含む
資料：平成 28 年経済センサス-活動調査-



2 商業

鶴見区は、卸売業では「機械器具」の割合が高くなっています。また、小売業では「飲食料品」の割合が高くなっています。

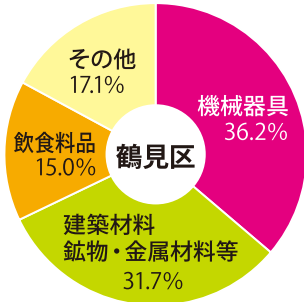
年間商品販売額は約 5,491 億円であり、18 区中7位となっています。

鶴見区の事業所数は、中区、西区、港北区、都筑区、神奈川区について、18 区中6番目となっています。

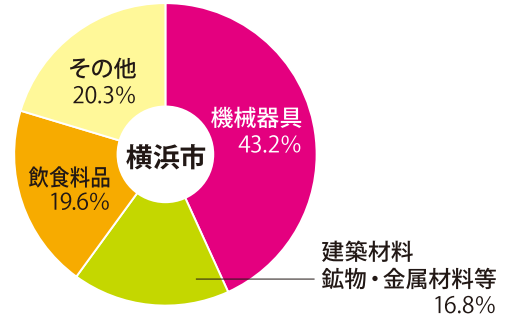


● 産業中分類別年間商品販売額構成比

卸売業

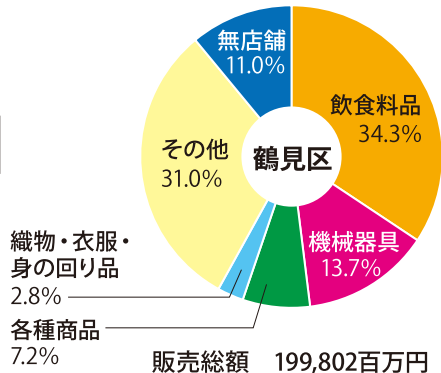


販売総額 349,304百万円

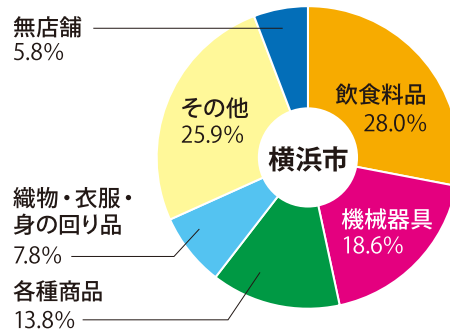


販売総額 6,687,696百万円

小売業



販売総額 199,802百万円



販売総額 4,011,894百万円

資料：平成 28 年経済センサス活動調査

● 区別事業所数・従業員数・年間商品販売額

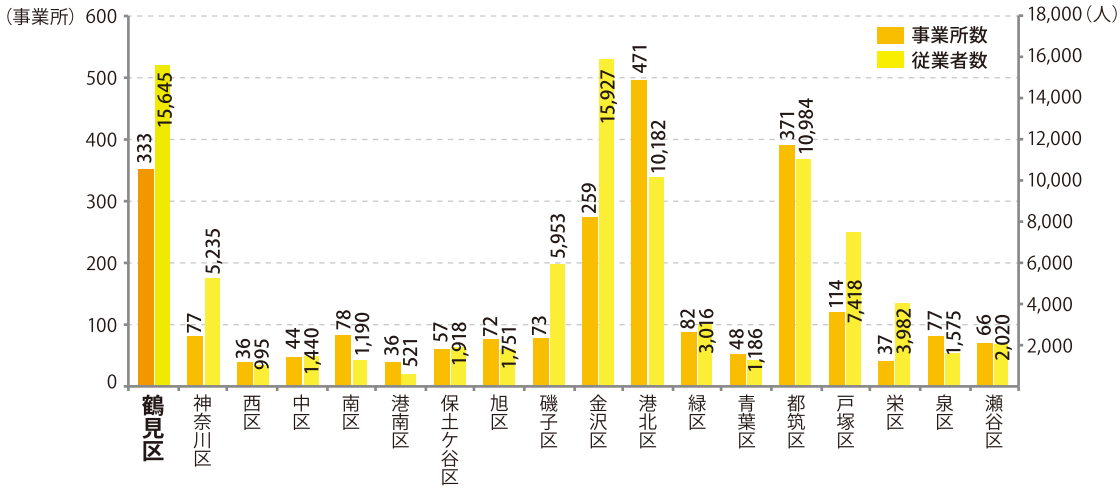
区 別	事業所数			従業員数 (人)	年間商品 販売額 (百万円)	年間商品 販売額順 位
	総数	卸売業	小売業			
横 浜 市	20,225	5,032	15,193	227,556	10,699,590	
鶴 見 区	1,429	365	1,064	13,054	549,105	7位
神 奈 川 区	1,441	553	888	16,663	1,101,797	3位
西 区	1,936	405	1,531	23,837	1,886,908	1位
中 区	2,105	605	1,500	18,811	1,015,734	4位
南 区	991	230	761	6,881	168,482	16位
保 土 ヶ 谷 区	831	167	664	7,622	249,785	12位
磯 子 区	664	139	525	6,830	177,031	15位
金 沢 区	1,017	289	728	11,364	446,013	9位
港 北 区	1,894	635	1,259	25,953	1,660,834	2位
戸 塚 区	1,116	226	890	15,463	810,386	6位
港 南 区	996	138	858	12,601	349,857	10位
旭 区	882	158	724	9,274	252,823	11位
緑 区	675	145	530	7,309	236,778	13位
瀬 谷 区	605	146	459	6,224	207,652	14位
栄 区	337	79	258	3,254	83,981	18位
泉 区	545	107	438	6,111	153,662	17位
青 葉 区	1,319	220	1,099	14,928	446,289	8位
都 筑 区	1,442	425	1,017	21,377	902,473	5位

資料：平成 28 年経済センサス活動調査

3 工業

鶴見区は、京浜工業地帯の中核として日本の重工業を支えてきました。事業所数については、昭和 48 年の 1,096 事業所をピークに、平成 30 年には 333 事業所とピーク時の約3割に減少し、また従業員数についても、60,000 人を上回っていた昭和 30 年代後半と比べて、約4分の1となりましたが、現在でも、横浜市内の工業における重要な位置を占めています。

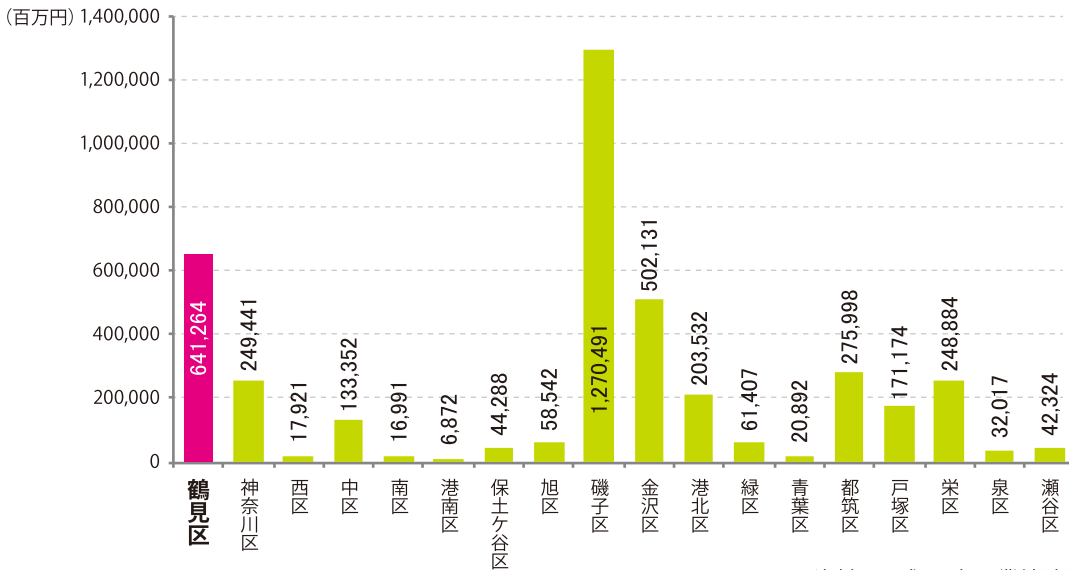
● 区別事業所数・従業員数



鶴見区は事業所数は18区中3位、従業員数は2位だよ!



● 区別製造品出荷額等



鶴見区は製造品出荷額等は、約6,413億円で、磯子区に続いて2位だよ!



資料：平成 30 年工業統計調査（従業員4人以上の事業所対象）

COLUMN 区の用途別水道使用量

資料：水道局及び第98回横浜市統計書

平成 30 年度の鶴見区の水道使用量は、約 2,945 万³m でした。そのうち、公衆浴場用が約 13 万³m で、横浜市全体の公衆浴場用水道使用量（約 71 万³m）の約 19%を占めています。

なお、鶴見区の平成 30 年末の公衆浴場数は 29 で、18 区中、3 番目の多さとなっています。



1 住宅

● 住宅の建て方別の世帯数 (単位: 世帯)

	鶴見区	横浜市
一戸建	42,120	607,761
長屋建	1,118	23,214
共同住宅	84,899	971,904
その他	237	2,602
合計	128,374	1,605,481

資料: 平成 27 年国勢調査

鶴見区で持ち家に住む一般世帯は 58.6% だよ!



住宅の建て方を見ると、共同住宅が最も多く 84,899 世帯 (住宅に住む一般世帯数に占める割合 66.1%) と約3分の2の世帯が共同住宅に住んでいることとなります。次いで一戸建てが 42,120 世帯 (32.8%) となっています。

共同住宅に住む世帯の割合は66.1% (84,899 世帯) で、横浜市全体の 60.5% (971,904世帯) と比べ 5.6 ポイントも上回っています。

● 空き家率

	鶴見区	横浜市	全国
空き家率	10.7%	9.7%	13.6%
住宅総数(戸)	151,690	1,835,800	62,407,400
空き家数(戸)	16,280	178,300	8,488,600

資料: 平成 30 年住宅・土地統計調査

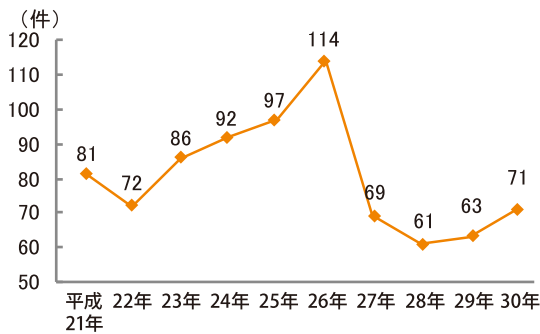
空き家率を見ると、鶴見区の空き家は16,280戸で10.7%を占めています。横浜市全体の9.7%に対し、鶴見区は空き家の割合が1.0ポイント高くなっています。

2 消防

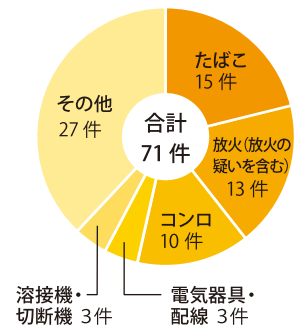
平成 30 年の火災発生件数は 71 件で、前年と比べると 8 件増加しました。火災の原因としては、「たばこ」が 15 件で一番多く、次いで「放火(放火の疑いを含む)」が 13 件、「コンロ」が 10 件となっています。

また、平成 30 年の救急車の出動件数は、15,005 件であり、出動理由は、急病が全体の約 68% を占めています。

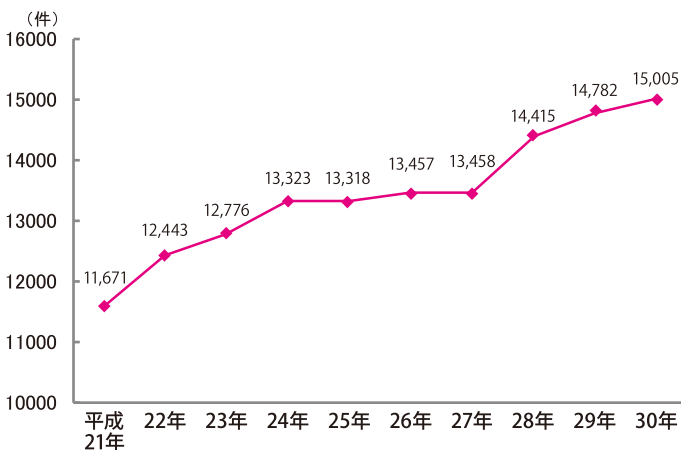
● 火災発生件数の推移



● 火災原因別件数



● 救急車出動件数の推移

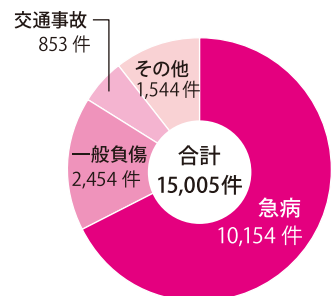


救急車の出動件数が増え過ぎると、空白地域*の増加につながり、傷病者の救命率が低下する恐れがあるよ。

*救急車が多数同時出場することで、その地域に救急車がない状態



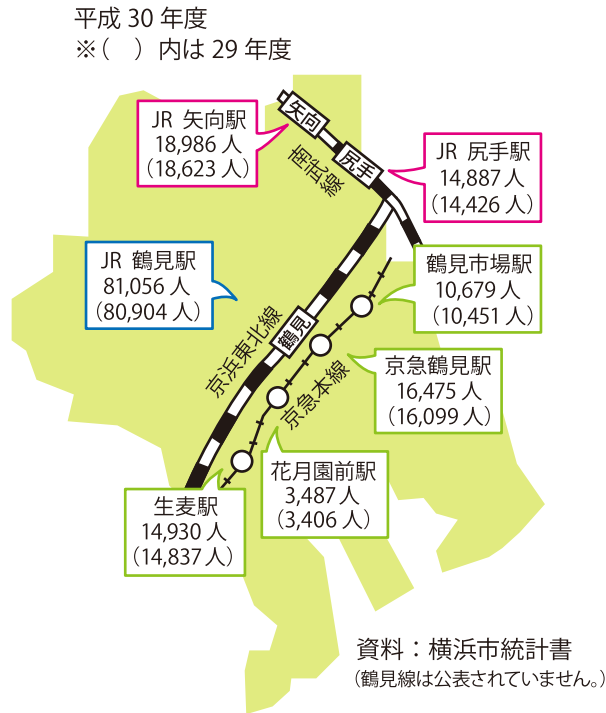
● 救急車出動理由



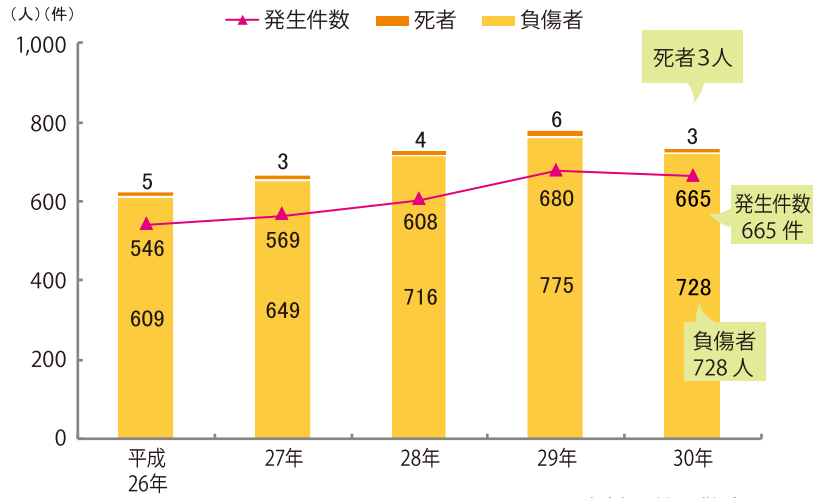
資料: 平成 30 年 鶴見消防署

3 交通

● 区内駅別一日平均乗車人員



● 交通事故発生件数と死者・負傷者の推移



平成30年中の交通事故による負傷者は728人、死者は3人でした。また、交通事故発生件数は665件であり、いずれも前年と比べて減少しました。

4 犯罪

● 犯罪(刑法犯)の種類別認知件数 (平成30年)

(単位：件)

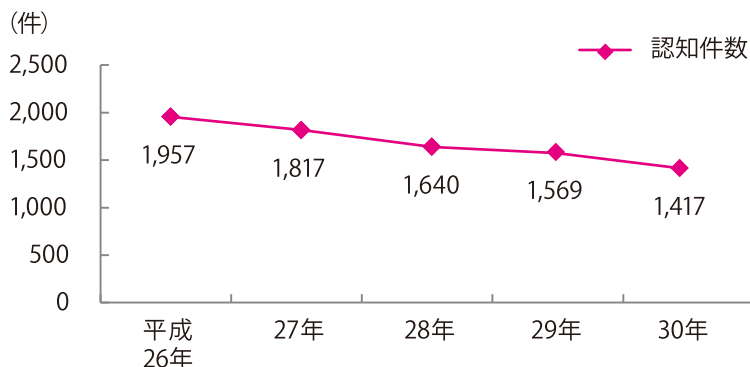
	凶悪犯	粗暴犯	窃盗犯		知能犯	風俗犯	その他の刑法犯	総数
			自転車	その他				
鶴見区	9	81	383	627	131	22	164	1,417
横浜市	134	1,327	3,676	8,417	1,698	223	1,989	17,464

犯罪件数は昨年に比べて152件減少し、横浜市全体では2,582件減少したよ。

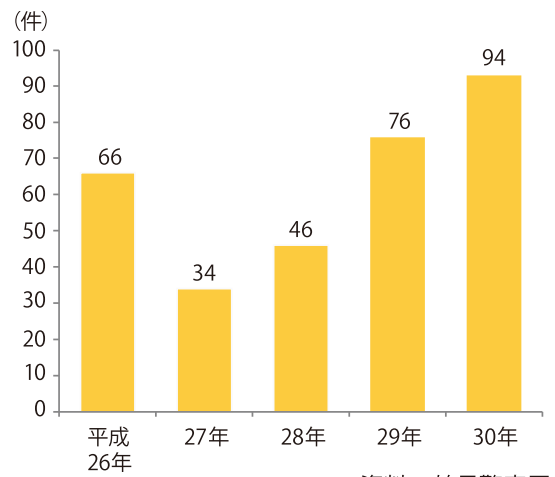


● 犯罪(刑法犯)認知件数の推移

平成30年中の鶴見区内の犯罪認知件数は1,417件で、平成25年以降減少を続けています。一方で、振り込め詐欺の件数は、平成27年以降年々増加しています。

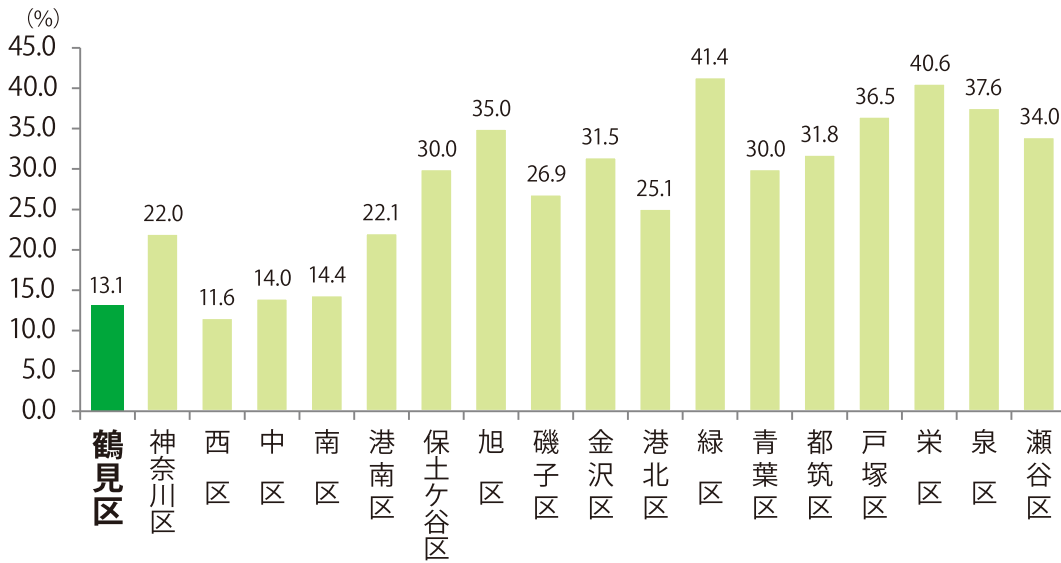


● 振り込め詐欺件数の推移

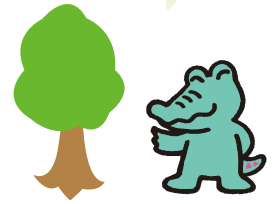


5 環境

● 緑被率（平成 26 年調査）

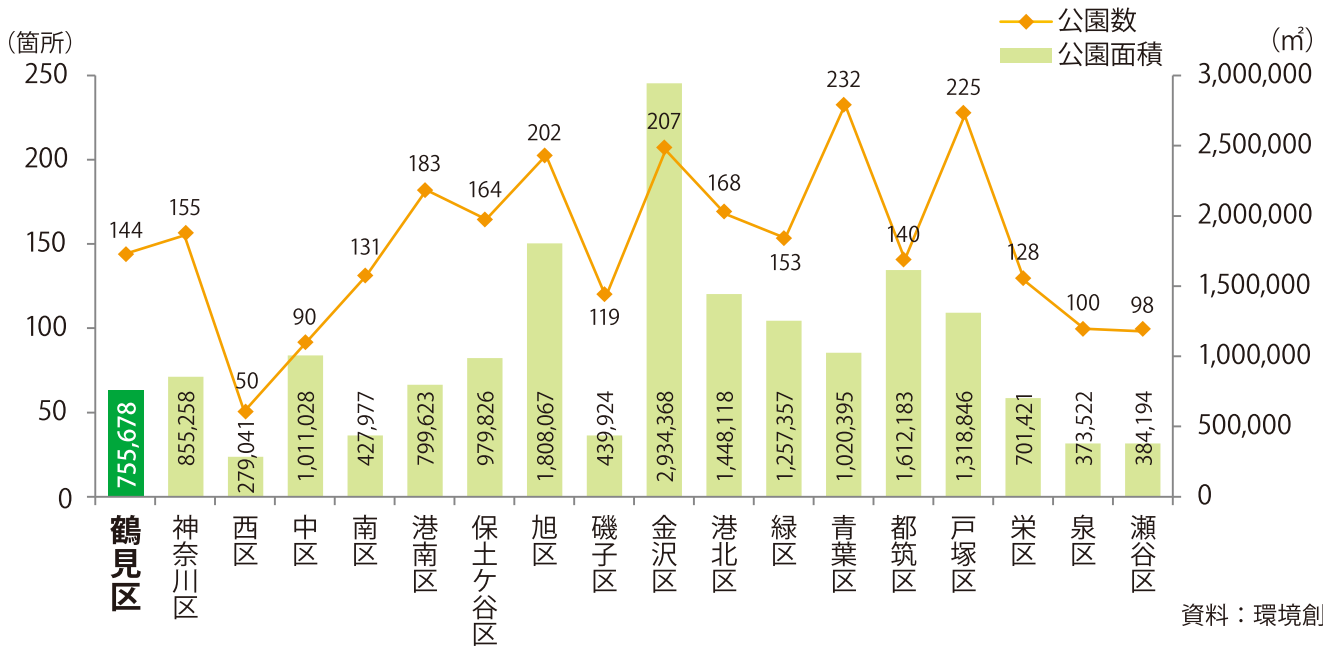


鶴見区の緑被率は、18 区中 17 位です。
鶴見区の緑被率は減少傾向にあります。



資料：横浜市統計書

● 区別公園数・公園面積（県立公園含む）（平成 31 年 3 月 31 日現在）



資料：環境創造局

鶴見区には、平成31年3月31日現在、144箇所の公園があり、その面積は755,678㎡となっています。そのうち、県立三ツ池公園が296,838㎡と、区内の公園面積の約4割を占めています。

COLUMN 鶴見区のマスコットはなぜワニなの？

僕の横顔に似てるでしょ？

鶴見区マスコットキャラクターの「ワックン」は、区制 60 周年（昭和 62 年）を記念して昭和 63 年 1 月に誕生しました。

ワニが選ばれたのは、鶴見区の形がワニの顔の形に似ていること、「産業の街・鶴見」の力強いイメージにぴったりなことなどが主な理由です。



※緑色の部分が鶴見区

6 区民フェスティバル

鶴見区では、区民フェスティバルを開催しています。それぞれのフェスティバルは、会場周辺の地区連合町内会や地元企業等により組織された実行委員会の企画運営により、開催されています。

● 三ツ池公園（文化・環境）フェスティバル

多数の区民ボランティア参加のもと、ステージでの各団体の発表や、フリーマーケット、中学生ボランティアによる牛乳パックの回収などを通じて、「文化と環境」に関心を持ち、積極的に理解することを目的に開催しています。

また、鶴見区の友好交流都市である、福島県西会津町や棚倉町、石川県輪島市の特産物の販売なども行われています。

会場 県立三ツ池公園 **実施日** 令和元年5月18日(土)
来場者数 約50,000人



団体によるステージイベント

● つるみ臨海フェスティバル

「鶴見大好き 私のふるさと～みんなで創ろう つるみ臨海部」をテーマとして、臨海部に親しみながら誰もが楽しめるふれあいの場を提供し、子どもから高齢者まで、安心して暮らしていけるあたたかな地域づくりを目的に開催しています。ステージでは、地元小中学校や団体による多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、地域の団体や地元企業が多数の模擬店を出店し、まつりを盛り上げています。

また、毎年恒例のお楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに賑わいます。

会場 入船公園 **実施日** 令和元年10月19日(土)
来場者数 約45,000人



ステージイベント
(みんなで踊ろう!!鶴見ふるさと音頭)の様子

※各区民フェスティバルの実施日及び来場者数(実行委員会発表)は、令和元年度のものです。

資料：鶴見区地域振興課

COLUMN 関東の沖縄タウンつるみ!?

鶴見区には、多くの沖縄料理店や沖縄芸能の団体があります。明治の後半、沖縄では土地整理事業により土地を失った人々が県外・海外へ移住するようになりました。また同じ頃、鶴見では京浜工業地帯の工場などの敷地の埋立・造成のため労働力の需要が高まり、沖縄出身の若者が出稼ぎに来て定住するようになりました。現在でも、鶴見区は沖縄出身の方が多く、区内のお祭りや沖縄料理店などで、沖縄の文化や方言に出会うことができます。



ウチナー祭開幕宣言

● 鶴見ウチナー祭 **会場** 入船公園 **来場者数** 約70,000人
実施日 令和元年9月21日(土)～22日(日)

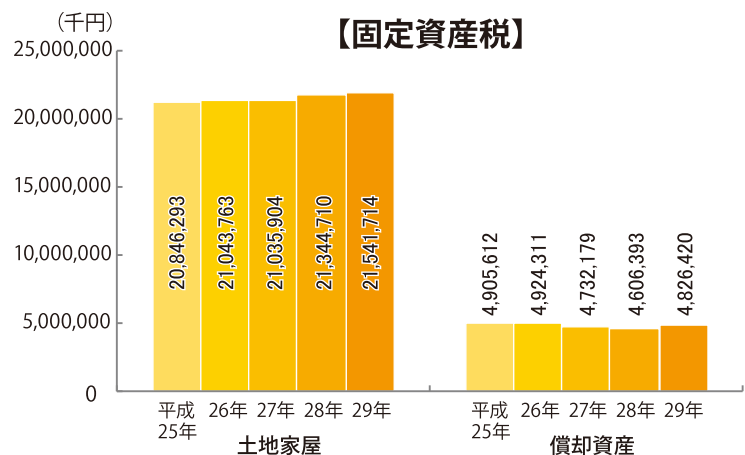
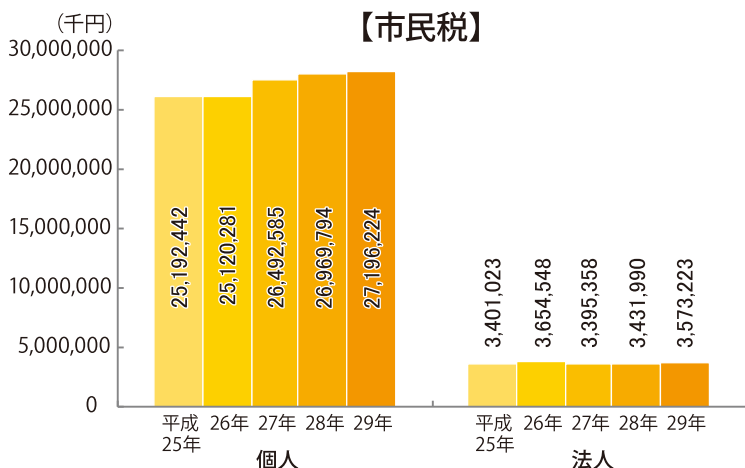


7 市税

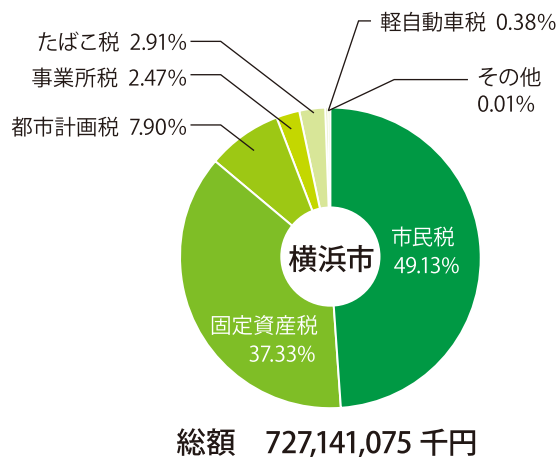
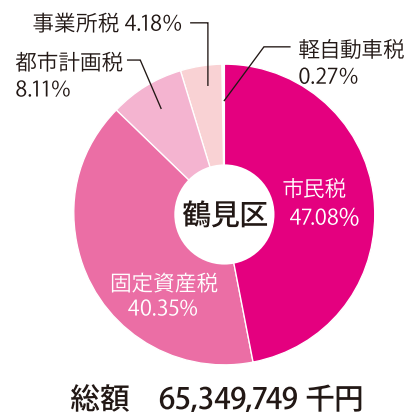
横浜市の平成29年度の市税収入は、約7,271億円で、前年度に比べ約64億円の増収となりました。税別では、「個人市民税」は給与所得納税者数の増加などにより、「固定資産税（土地家屋）」は新築家屋の増加などにより、ともに増収となっています。

なお、鶴見区の平成29年度の市税収入は約653億円で、市全体の約8.99%を占めています。

● 鶴見区税別収入の推移



● 市税収入の構成比（平成29年度）



資料：平成29年度市税決算額調

8 戸籍

● 戸籍数（本籍）（平成31年3月31日現在）

横浜市合計 1,282,871 戸籍 (単位：戸籍)

1位	2位	3位
港北区 108,766	鶴見区 103,512	神奈川区 89,555

● 住民登録世帯数（平成31年3月31日現在）

横浜市合計 1,791,848 世帯 (単位：世帯)

1位	2位	3位
港北区 170,863	鶴見区 146,830	青葉区 134,611

鶴見区の戸籍数（本籍）は平成31年3月31日現在103,512戸籍、また、区内に住民登録をしている世帯の数は、146,830世帯で、それぞれ港北区に次いで18区中第2位となっています。

前年に比べて、戸籍数、住民登録世帯数ともに増加しているよ！



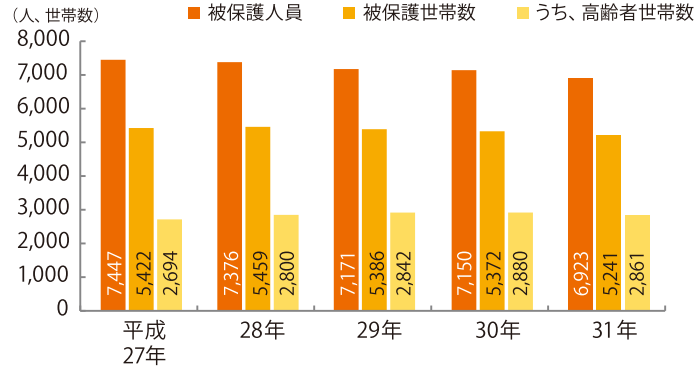
資料：鶴見区戸籍課
横浜市統計書

9 生活保護

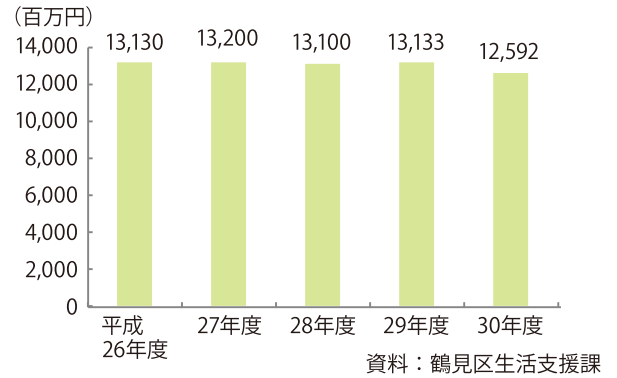
平成 31 年 4 月現在の鶴見区において、生活保護を受給している世帯は 5,241 世帯、人員は 6,923 人で、それぞれ中区、南区に次いで 18 区中 3 位となっています。

最近の鶴見区の動向としては、雇用状況や経済情勢の安定により、被保護人員は減少傾向にあります。しかし、高齢化の影響で、被保護世帯のうち高齢者世帯が 5 割を超えています。

● 生活保護人員・世帯数の推移 (各年 4 月現在)



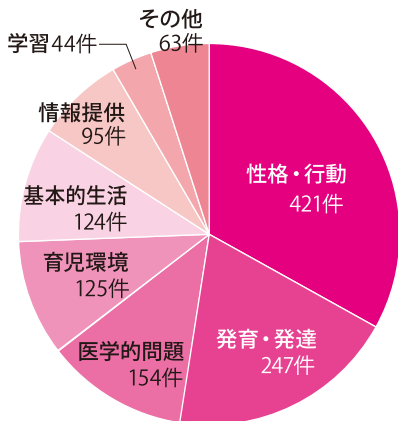
● 生活保護費の推移 (各年度決算額)



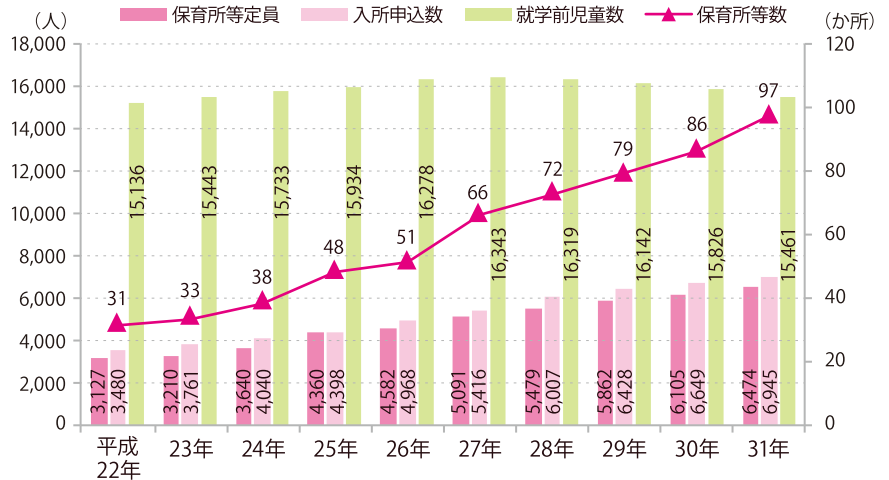
10 子育て

● 子ども家庭支援相談状況

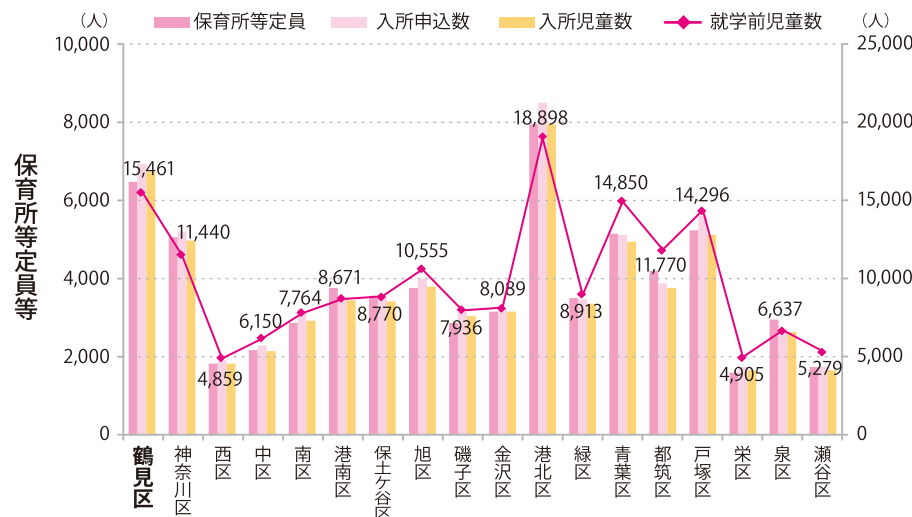
(平成 30 年度延べ件数)



● 鶴見区の保育所等利用状況について (各年 4 月 1 日)



● 18 区別の就学前児童数と保育所等の状況 (平成 31 年 4 月 1 日現在)



鶴見区は就学前児童数・保育所等定員数がともに 18 区中 2 番目に多いよ。また、就学前児童数は減少傾向ですが、入所申込数は増加しているよ。



資料：鶴見区子ども家庭支援課

※保育所等：平成 27 年 4 月から保育所・幼保連携型認定こども園のほか、地域型保育（家庭的保育、小規模保育、事業所内保育）を含む。

11 健康

● 平均寿命

鶴見区の平均寿命は18区中、男性が15位、女性が17位、平均自立期間は18区中、男性が15位、女性が17位となっています。

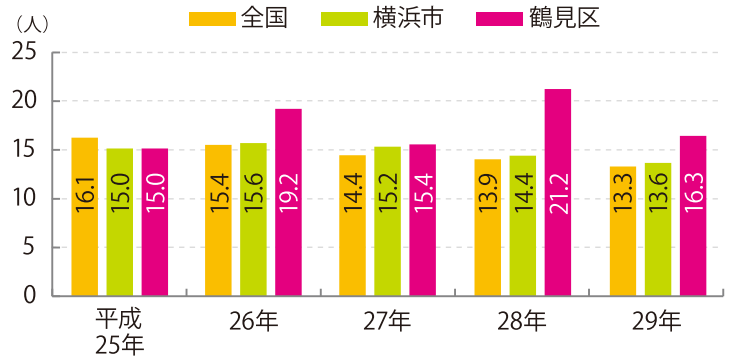
区別生命表（平成28年）

	平均寿命		平均自立期間	
	男	女	男	女
横浜市	81.37	87.04	79.61	83.30
鶴見区	80.17	85.84	78.24	81.85
神奈川区	81.57	86.77	79.79	82.89
西区	79.50	85.94	77.85	82.37
中区	78.06	85.88	76.28	81.94
南区	79.18	85.72	77.41	81.83
港南区	81.40	87.08	79.58	83.13
保土ヶ谷区	80.62	86.44	78.82	82.70
旭区	81.37	87.75	79.61	83.74
磯子区	81.13	86.70	79.40	83.18
金沢区	81.70	86.84	80.02	83.34
港北区	82.25	87.61	80.32	83.77
緑区	82.96	87.67	81.08	83.88
青葉区	83.67	88.47	81.91	84.90
都筑区	82.87	88.71	81.10	85.14
戸塚区	82.03	86.90	80.30	83.39
栄区	81.16	87.25	79.76	83.85
泉区	82.38	87.43	80.73	83.88
瀬谷区	80.61	86.84	78.89	83.24

※平均寿命…0歳平均余命
平均自立期間…日常生活に介護を要さない期間の平均

● 結核

鶴見区の結核罹患率は、平成28年は増加しましたが、平成29年は減少しています。



※結核罹患率とは、新規結核登録者数を人口10万人に換算した数値

噛む 噛む **COME COME 元気大作戦!**

全身の健康には歯の健康も大きく関わっているよ!いつまでも、元気で食べて話して笑えるように、年に2回は歯科健診を受けようね。



● 主な死因の状況

主な死因は、多い順に、悪性新生物(がん)、心疾患、老衰となっており、全死因の5割を超えています。

主な死因の死亡数(単位:人)

	全死因	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性肺疾患	腎不全	その他
平成27年	2,241	737	352	168	135	73	165	37	42	34	34	464
平成28年	2,306	717	351	175	157	89	157	46	39	36	31	508
平成29年	2,364	668	343	173	146	94	207	42	52	45	36	558

資料：鶴見区福祉保健課

12 選挙

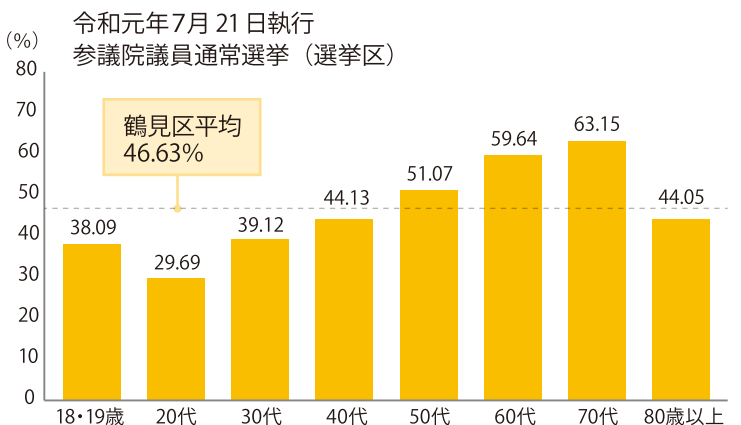
鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が最も低く、若年層を中心に投票率の向上が課題となっています。

● 最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)		18区中順位
		鶴見区	横浜市	
参議院議員通常選挙(選挙区)	R17.7.21	46.58	49.70	17位
統一地方選挙(市会)	H31.4.7	40.61	42.48	14位(17区中)
衆議院議員総選挙(小選挙区)	H29.10.22	47.00	51.56	18位
横浜市長選挙	H29.7.30	33.22	37.21	18位
参議院議員通常選挙(選挙区)	H28.7.10	53.11	56.53	17位
統一地方選挙(市会)	H27.4.12	39.79	42.00	15位

※H31.4.7の統一地方選挙の順位は、18区のうち無投票当選の1区を除いたもの。

● 鶴見区年齢別投票率 (在外投票を除く)



※この表は在外投票を除くため、左表と平均投票率が異なります。

つるみの和風庭園とは？



鶴見区に残る日本の原風景

みなさんは、鶴見区に市内でも珍しい和風庭園があることをご存知ですか？
かつて馬場花木園の一带は、丘と丘に挟まれた谷筋にある「谷戸」で、周囲の山から得られる豊富な湧水や湿地で農耕が営まれていました。

つるみの「谷戸」にある古民家と和風庭園で、日本の心の『原風景』に触れ、心も体もリセットしてくれる癒しの空間へタイムスリップしてみませんか？

～つるみで四季を味わう～

馬場花木園では、季節によってさまざまな花を楽しむことができます。春にはサクラとボタン、夏には花木園の代表とも言えるハスが花を咲かせ、秋には紅葉を、冬にはウメを楽しむことができます。



▲旧藤本家主屋 座敷
旧藤本家 土間▶



令和元年、馬場花木園は古民家が加わり、魅力アップ！

令和元年11月、馬場花木園に、横浜市認定歴史的建造物の古民家「旧藤本家住宅主屋及び東屋」が加わりました！起伏のある谷戸の地形と茅葺屋根の建物、池に注ぐ主屋の前庭にある流れなどは、往時の雰囲気そのまま残しています。



主屋の裏を歩くと、かつて使用されていた瓦が足元に隠れているよ！



夏

夏の簾戸→冬の障子

主屋は、夏は簾戸(すだれの戸)、冬は障子で、季節にあわせて入れ替えるんだよ。

冬



アクセス JR「鶴見」駅西口から

- 川崎鶴見臨港バス鶴01系統「東高校入口」下車徒歩8分
- 横浜市営バス41系統または38系統「西寺尾建功寺前」下車徒歩8分

略年表

年	月	できごと
建久元(1190)	—	源頼朝、上洛 鴨志田十郎、馬場次郎、寺尾太郎、寺尾三郎太郎などが 随行したことが『吾妻鏡』に記されている(平安時代末期)
承久3(1221)	—	承久の乱 戦傷死者の中に潮田四郎太郎、潮田六郎、寺尾又太郎、 寺尾左衛門尉などの名前が『吾妻鏡』に記されている
元弘3(1333)	—	新田義貞挙兵・鶴見合戦おこる
建武元(1334)	—	『松蔭寺古図』作成(室町時代)
永享8頃(1436)	—	諏訪氏が寺尾城を築城
慶長5(1600)	10	関ヶ原の戦い
	6(1601)	—
	16(1611)	—
嘉永6(1853)	6	ベリー来航
安政6(1859)	6	横浜開港(6月2日開港記念日)
文久2(1862)	8	生麦事件おこる
明治5(1872)	9	新橋～横浜間鉄道開通、鶴見駅開業
	22(1889)	—
	4	市制施行(人口116,193人) 市制施行に併せて、鶴見地域に旭村、生見尾村 (後の鶴見町)、町田村(後の潮田町)誕生
	38(1905)	—
	12	品川・神奈川間に京浜電鉄(現京浜急行)開通、鶴 見停留所(現京急鶴見駅)開業
	44(1911)	—
	11	曹洞宗大本山總持寺 鶴見に移転
大正2(1913)	2	浅野総一郎、鶴見海岸の埋立に着手
	3(1914)	—
	5	平岡廣高、日本初の児童遊園地「花月園」を開園
	12(1923)	—
	9	関東大震災発生
	14(1925)	—
	4	鶴見町(旧生見尾村)と潮田町(旧町田村)が合併 鶴見町となる
	15(1926)	—
	3	鶴見線の前身「鶴見臨港鉄道」開通
	11	第一京浜国道(現国道15号)全線開通
昭和2(1927)	4	鶴見町、旭村(現在の鶴見区全域と神奈川区・港 北区の一部)が横浜市に合併
	10	横浜市の区制施行により鶴見区(当時の人口62,446 人)誕生(鶴見・神奈川・中・保土ヶ谷・磯子の5区)
	3(1928)	—
	6	横浜市電子安線生麦～金港橋間開通
	18(1943)	—
	7	私鉄鶴見臨港鉄道が国に買収され、国鉄鶴見線 (現JR鶴見線)になる
	20(1945)	—
	4	鶴見の大空襲で12,400余戸焼失
	8	—
	終戦	—
	21(1946)	—
	11	児童遊園地「鶴見花月園」閉園
	25(1950)	—
	5	花月園競輪場開場
	29(1954)	—
	4	三ツ池公園、県立公園に指定
	31(1956)	—
	9	横浜市、政令指定都市に指定
	33(1958)	—
	3	第二京浜国道(現国道1号)全線開通
	9	台風22号で鶴見川氾濫 家屋水没648世帯、 床上浸水14,000戸
	38(1963)	—
	11	国鉄鶴見事故161人死亡
	41(1966)	—
	8	横浜市電生麦線廃止
	42(1967)	—
	5	鶴見川、1級河川に指定
	44(1969)	—
	5	「鶴見会館」開館
	50(1975)	—
	4	獅子ヶ谷市民の森開園
	52(1977)	—
	10	区制50周年 人口237,678人 (『鶴見区史』編纂)
	55(1980)	—
	1	鶴見図書館開館
	12	—
	末吉地区センター開館(鶴見区第1号)	—
	60(1985)	—
	10	鶴見公会堂開館
	61(1986)	—
	3	鶴見駅西口市街地改造事業完了 (本市施行の初の再開発事業)
	62(1987)	—
	10	区制60周年 人口243,751人 (『鶴見の歴史と人々のくらし』編纂)
	63(1988)	—
	1	鶴見区新総合庁舎完成
	鶴見区マスコット「ワックン」制定	—
	11	「横溝屋敷」市指定文化財第1号に指定
平成元(1989)	9	—
	2(1990)	—
	6	上寺尾小学校コミュニティハウス(鶴見区第1号) 開所
	7	—
	大黒ふ頭埋立完成	—
	3(1991)	—
	2	鶴見区のシンボルマーク制定
	11	—
	区民の花(サルビア)決定	—

年	月	できごと
平成6(1994)	5	鶴見駅西口行政サービスコーナー設置 潮田交流プラザ(国際学生会館・地区センター・ 地域ケアプラザ(鶴見区第1号)・ふれあいショップ PORT)開館
	12	—
	鶴見つばさ橋開通	—
	7(1995)	—
	4	環境事業局鶴見工場本格稼働
	8(1996)	—
	7	大黒海づり公園開園
	高齢者保養研修施設「ふれーゆ」オープン	—
	9(1997)	—
	5	入江川せせらぎ緑道開通
	10	—
	10	区制70周年 人口250,883人 (『鶴見懐かしの写真集』を編纂)
	区の木(サルスベリ)決定	—
	10(1998)	—
	10	中途障害者地域活動センター「ふれんどーる鶴見」開所
	11(1999)	—
	7	馬場花木園開園
	10	福祉保健活動拠点開設
	12(2000)	—
	4	理化学研究所「横浜研究所」発足
	5	特別養護老人ホーム「新鶴見ホーム」開所
	11	障害者地域活動ホーム「幹」開所
	12	—
	12	「馬場赤門公園」開園
	13(2001)	—
	3	「横浜市産学共同研究センター」開設
	4	「横浜市立大学大学院(連携大学院)」開校
	14(2002)	—
	1	福祉保健センター開設
	15(2003)	—
	4	横浜新技術創造館「リーディングベンチャープラ ザ」開館
	16(2004)	—
	4	国道357号線開通
	18(2006)	—
	1	「ゆうづる」(鶴見市場地域ケアプラザ・鶴見市場 コミュニティハウス)開所
	19(2007)	—
	3	東部地域中核病院「済生会横浜市東部病院」開院
	5	鶴見中央地域ケアプラザ開所
	10	—
	10	区制80周年 人口267,447人 (『つるみみやげ』発行)
	21(2009)	—
	4	横浜サイエンスフロンティア高等学校開校
	22(2010)	—
	3	花月園競輪場閉園
	11	「鶴見会館」閉館
	12	—
	12	鶴見中央コミュニティハウス開館
	鶴見国際交流ラウンジ開館	—
	23(2011)	—
	3	区民文化センターサルビアホール開館
	鶴見駅東口地区第一種市街地再開発事業完了	—
	24(2012)	—
	1	生麦地域ケアプラザ開所
	4	—
	4	福島県棚倉町、西会津町と友好交流協定書を締結
	11	—
	11	鶴見駅 駅ビル「CIAL鶴見」開業
	25(2013)	—
	2	石川県輪島市と友好交流協定書を締結
	4	—
	4	鶴見駅西口第二自転車駐輪場オープン(1,000台を収容)
	27(2015)	—
	2	馬場地域ケアプラザ開所
	11	—
	11	鶴見駅東口駅前広場整備完了
	29(2017)	—
	3	高速横浜環状北線開通
	10	—
	10	区制90周年 人口288,765人 (『鶴見みどころ90』発行)
	30(2018)	—
	4	旧鶴見工業高等学校跡地に特別養護老人ホーム、 聖灯看護専門学校開設、下野谷町三丁目公園開園
	大黒ふ頭客船ターミナル整備(II期地区)	—
	31(2019)	—
	4	大黒ふ頭客船ターミナル整備(II期地区)
令和元(2019)	6	—
	6	旧鶴見工業高等学校跡地にリハビリテーション 病院開設

COLUMN 江戸時代の鶴見

江戸時代、鶴見の東海道筋は、街道の生麦村、鶴見村、市場村などに人が集まり、神奈川宿と川崎宿の間に「間の宿」として、にぎわいをみせていました。鶴見区域の大部分は幕府の直轄領(天領)で、代官が治めており、旗本領としては、獅子ヶ谷・駒岡・潮田(一時期)などがありました。

また、江戸時代の生麦は「御菜ハケ浦」の一つとして栄え、新鮮な魚介類を江戸城に献上していました。御菜ハケ浦とは、江戸城の御菜御着を定期的に献上するほか、各種の船役を勤める見返りとして、現在の東京湾の漁猟に特権を認められていた専業漁業村落のことです。生麦以外には、芝金杉、本芝、品川獵師町、大井御林町、羽田(いずれも現東京都)、神奈川獵師町、新宿(いずれも現神奈川県)の7浦が指定されていました。

つるみマップ ★ TSURUMI MAP



掲載している情報は、令和元年12月時点のものです。掲載内容が今後変更される場合がありますので、ご了承ください。

広告

医療法人皓慈会



浅川産婦人科医院

☎ 0120-030-111

外来診療 9時～12時
16時～19時
土曜午後・日曜・祝日休診

JR鶴見駅
西口
徒歩3分

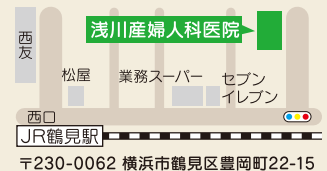
駐車場
あり



出産はもちろん、産後ケア入院にも取り組んでいます

赤ちゃんとお母さんと
全室個室の入院設備

当院で生まれた生後2カ月までの赤ちゃんとお母さんの相談会「浅川っ子」を定期開催





発行：鶴見区役所総務課統計選挙係

横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1

電話 045-510-1660 FAX 045-510-1889

Eメール tr-toukei@city.yokohama.jp

<http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/>

令和2年1月発行